



町章(平成17年11月15日制定)
Town Emblem



町の花/スイセン(平成18年11月1日制定)
Town flower/Narcissus



町の木/オンコ(イチイ)(平成18年11月1日制定)
Town tree/Japanese yew



町の鳥/カモメ(平成18年11月1日制定)
Town bird/Sea gull

せたな町の地勢

せたな町は、北海道の南西部、日本海に面した檜山支庁管内の北部に位置しています。

北は島牧村、東は今金町、南は八雲町に接しており、西は日本海をはさんで奥尻島をのぞみます。

北部と南部に広がる山地の中間を一級河川の後志利別川が流れ、北部には道南の最高峰狩場山(1,520m)など千メートル級の山々が連なり、南部には遊楽部岳(1,276m)や白水岳(1,136m)などが連なっています。

- 人口 10,728人
(平成19年2月28日現在)
- 総面積 638.64km²

On September 1, 2005, Kitahiyama Town, Setana Town and Taisei Town were merged to create Setana Town. The three towns, which have long enjoyed the blessings of the Sea of Japan, became one to adapt to the changing times, such as the ever decreasing population, the declining birthrate, the aging of society, and a three-part reform package aimed at reducing national subsidies, transferring

tax revenues to local governments and reforming the grant-in-aid system, as well as maintaining public services for residents and protecting the peaceful residential environment. In cooperation with residents, we will strive to improve this new town by taking advantage of the abundant local resources that have been cultivated by each former town.

●合併から始まる新しい郷土づくり

平成17年(2005)9月1日、北檜山町、瀬棚町、大成町の3町が合併して「せたな町」が誕生しました。
イカやサケなど日本海の海の幸をともに享受してきた3つの町が、人口の減少や少子・高齢化、三位一体改革などの時代の荒波に対応

し、住民サービスや安心して暮らせる環境を守るため、ひとつになったのです。

この合併がもたらすものは、それだけではありません。

3つの地域には、これまでそれぞれが培ってきたたくさんの地域資源があります。

これをチャンスととらえ、豊かで多彩な地域資源を活用し、新しい郷土を築いていくことが大切です。

北檜山・瀬棚・大成それぞれの個性を生かしながら融合し、町民と町が協働して未来を切り開く——新しいまちづくりを進めていきます。

町民憲章

(平成18年11月1日制定)

【前文】

わたしたちは、秀峰狩場連山と日本海にいだかれ、恵まれた自然、実り豊かな大地にぐくまれた「せたな町民」です。

わたしたちは、風雪に耐え忍んだ先人のたくましい開拓精神をうけつぎ、よりよい町の発展と幸せを願い、心と力をあわせ希望にみちた町づくりのために、この憲章を定めます。

【本文】

きまりを守り、住みよい町にしましょう。
たがいに学び、かおり高い文化の町にしましょう。
誇りをもって働き、健康で豊かな町にしましょう。
郷土を愛し、伸びゆく町にしましょう。
豊かな自然を守り、美しい町にしましょう。

SYMPHONY

第5楽章

行政

Administration

豊かで美しい自然、
人と人との
ふれあいを大切に



せたな町庁舎(北檜山区) Setana Town Office (Kitahiyama district)



狩場山 Mt. Kariba

SYMPHONY
The fifth movement
Administration



第5楽章
行政